

ハイスクール・チャレンジプロジェクト推進事業

生徒の応用力の伸長、高度な専門性の育成、地域との連携による豊かな心の育成を図るなど、特色ある学校づくりを支援します。

1 平成19年度は13テーマに21校を採択し、5月7日に特に顕著な成果を上げた3校による成果発表会を実施しました。

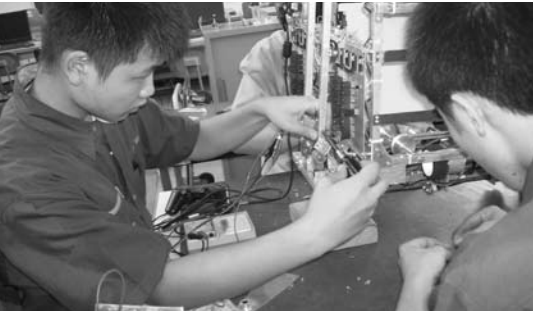
森 高 校

高い言語能力を持った人材を育成する学校



国東高校

コンテスト競技日本一に取り組む学校



玖珠農業高校

地域の環境保全に取り組む学校



2 平成20年度も13テーマ21校を採択しました。採択校は次のとおりです。

I 個性輝く学校づくり 【普通科高校】

- ①高い言語能力を持った人材を育成する学校
森高校、別府羽室台高校
- ②科学分野に秀でた人材を育成する学校
大分西高校、大分南高校
- ③国際社会に通用する人材を育成する学校
別府青山高校、大分雄城台高校

I 個性輝く学校づくり 【専門高校】

- ①コンテスト競技日本一に取り組む学校
国東高校、津久見高校
- ②スペシャリストの育成に取り組む学校
野津高校、三重総合高校
- ③大学進学率の向上に取り組む学校
大分工業高校、臼杵商業高校
- ④先端技術・技能の活用に取り組む学校
宇佐産業科学高校、中津商業高校
- ⑤学校ブランドの確立に取り組む学校
海洋科学高校、中津工業高校

II 地域との連携による豊かな心の育成 【普通科高校、専門高校】

- ①地域の伝統文化を継承する学校
由布高校
- ②合併新市の町づくりに参画する学校
安心院高校
- ③奉仕活動に積極的に取り組む学校
佐伯鶴岡高校
- ④地域の環境保全に取り組む学校
玖珠農業高校
- ⑤地域の福祉活動に参加する学校
日田三隈高校

家庭だから
できる！

携帯電話・インターネットの安全チェック

便利で手軽な携帯電話やパソコンですが、気軽さの影に危険な落とし穴が隠れています。使い方次第で人を傷つけ、犯罪被害を誘引する道具にもなります。子どもが携帯電話やパソコンでインターネットを利用している場合、家庭での安全対策は大丈夫ですか？

★危険な有害情報★

携帯電話やパソコンからアクセスできるホームページの中には便利で役立つ情報がある一方で、「暴力」「性」「薬物」「自殺勧誘」などの有害サイトがあります。興味本位でアクセスすると、様々なトラブルに巻き込まれたり、悪い影響を受けたりすることがあります。フィルタリングに関する理解を深めるとともに、子どもの犯罪被害防止を図っていくことが大切です。

★ネット上の書き込みの危険性★

ネット上の学校非公式サイトやブログ、プロフィールなどを利用して学校などの情報を交換している人がいます。このような書き込みの中で、友だちの実名を書き込んだり、写真を掲載したり、悪口やうわさ話を書き込んだりして、大きなトラブルになり、他人の心を傷つけたりした事例が発生しています。家庭で携帯電話の必要性についてしっかりと話し合い、持たせる場合は、家庭内でのルールをつくり、徹底することが大切です。

※ブログ＝簡単に作れる日記風のサイト。画像も簡単に公開できる。
※プロフィール＝自己紹介するサイト。個人情報公開してしまう可能性が大きい。

携帯電話やパソコンで

インターネットを使うときの約束事を決めていますか？

- フィルタリングを設定している。
- 利用する時間や料金の上限を決めている。
- 自分の氏名、住所、電話番号、アドレス等をネット上に公開しない。また、必要な人以外には教えないようにしている。
- 他人の氏名、住所、電話番号、アドレス等を本人の了解なしにネット上に公開したり、別の人に教えない。
- ネット上に、無責任なことや自分が言われたり書かれたりしたら嫌なことは書き込まない。
- 「チェーンメール」、「迷惑メール」など不審なメールを受信したら、開いたり、送信したりせず、大人に相談して、消去する。
- いわゆる「出会い系サイト」に類するサイトにはアクセスしない。
- 好奇心や興味本位で不審なサイトを見ない。
- ネットいじめ、トラブルや心配事があったら、すぐに家族で話し合ったり、学校などに相談する。
- 携帯電話やインターネットの利用方法について、家族で話し合っている。